

# 京都産業大学探検部山班 冬季北山合宿報告書

2002年2月11日～12日

京都市左京区（二ノ瀬ユリ～魚谷山～岩屋橋）



## 【 合宿の概要 】

期間；平成14年2月11日～12日

場所；京都市左京区（魚谷山周辺）

目的；魚谷山周辺の登山道の整備

公費；1000円（内訳：11日夕食、12日朝食・昼食、整備用品）

### 参加者

チーフリーダー	古塚 孝太	4回生	A型
サブリーダー	小川 祐史	1回生	A型
救急	望月 美里	1回生	O型
会計	里見 真希子	1回生	O型

食料計画：11日 昼食（各自持参）、夕食（ちゃんこ鍋、ご飯）

12日 朝食（パン、コーンスープ）、昼食（行動食、ポカリ）

団体装備；テント（ダンロップ）、コッヘル、ヘッド（2）、ガス缶（3）、ランタン（1）、  
救急セット、キッチンセット、断熱マット、団体非常食、スコップ、鎌

個人装備；シュラフ、シュラフカバー、ザックカバー、断熱マット、雨具上下、軽登山靴、  
軍手、ヘッドランプ、替え電池、替え電球、メタ、細引、タオル、ナイフ、  
防寒具、着替え、米1合、保険証コピー、ポリタンク、非常食（カロリーメイト）、  
ベッセル、食器、学生証、計画書、トレペ、シルバーコンパス

緊急連絡先：在京連絡人：高橋 彩（外国語学部4回生）

顧問：横山茂樹

大学：学生課（昼間）

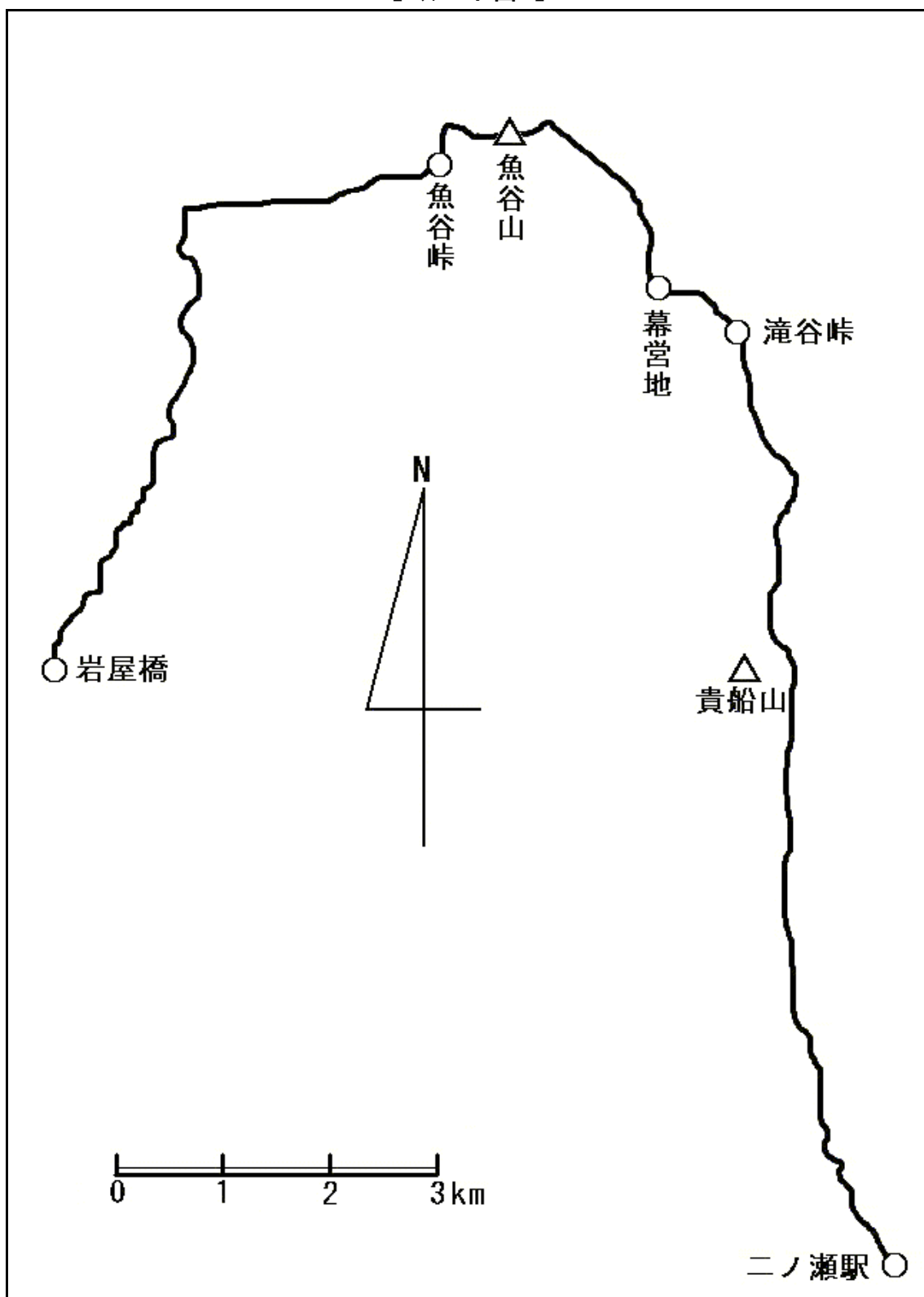
守衛課（夜間）

現地緊急連絡先；京都市下鴨警察署 075 - 703 - 0110  
京都市左京消防署 075 - 723 - 0119  
京都市休日急病歯科北部診療所 075 - 441 - 7173  
京都市役所 075 - 222 - 3111

【 行動記録 】

<p>11日</p>	<p>9 : 0 0 京都産業大学探検部BOXに集合            10 : 3 3 叡電二軒茶屋駅発            10 : 4 5 叡電二ノ瀬駅到着            10 : 5 8 山行開始            12 : 2 6 貴船山周辺にて昼食            13 : 1 5 出発            13 : 4 5 休憩            14 : 2 0 登山道の整備            14 : 3 0 山行開始            14 : 4 5 幕営地到着後設営            18 : 1 5 夕食の準備            18 : 5 5 夕食            19 : 3 0 片付け            21 : 3 0 消灯</p>	<p>二ノ瀬駅付近では若干降雪があったものの概ね天気は良好だったが、貴船山付近になると天気は急速に悪化。滝谷峠以降は積雪量が予想をはるかに越えるものであったため、装備面での不備が山行に支障をきたす要因となった。また、魚谷峠で幕営する予定だったが、天気と時間を考慮した結果、あずき谷下の林道で幕営することにした。</p>
<p>12日</p>	<p>6 : 0 0 起床            6 : 3 0 朝食準備            6 : 4 5 朝食            7 : 0 0 出発準備            8 : 2 0 山行開始            8 : 4 5 登山道の整備開始            11 : 5 0 魚谷峠付近にて昼食            12 : 4 5 山行開始            13 : 5 5 休憩            14 : 1 5 山行開始            14 : 4 0 岩屋橋に到着            16 : 5 0 バスに乗車            17 : 5 0 京都産業大学着 後片付け            19 : 0 0 解散</p>	<p>天気良好。夜間の積雪量は5cm程度であった。魚谷山までの登山道の整備は順調であったが、魚谷峠へ抜ける道を若干間違えてしまった。魚谷峠以降は林道を通って下山。気温の上昇と共に樹上の雪が解けて雨のように降ってきた。岩屋橋ではタッチの差でバスに乗り遅れた。</p>

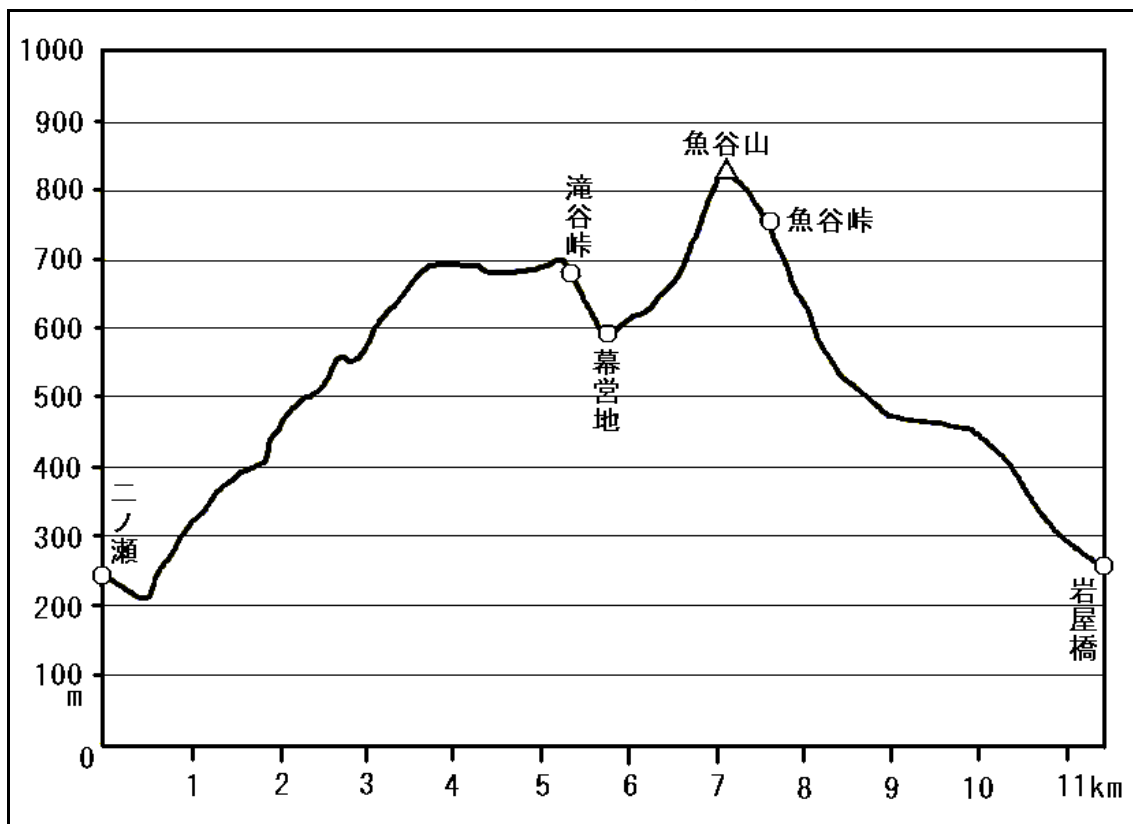
【 ルート図 】



11日：二ノ瀬駅 160分 滝谷峠 20分 幕营地

12日：幕营地 150分 魚谷山 25分 魚谷峠 100分 岩屋橋

## 【 昇高図とコース説明 】



### 【二ノ瀬ヨリ】

二ノ瀬駅から滝谷峠まではダラダラとした坂道が続く。途中、京都市内を一望できるポイントがあるが、冬の間は防護ネットにより立ち入ることはできない。このコースはマウンテンバイクの練習場所として利用されることが多く、今回の山行中も4～5人のグループと遭遇した。

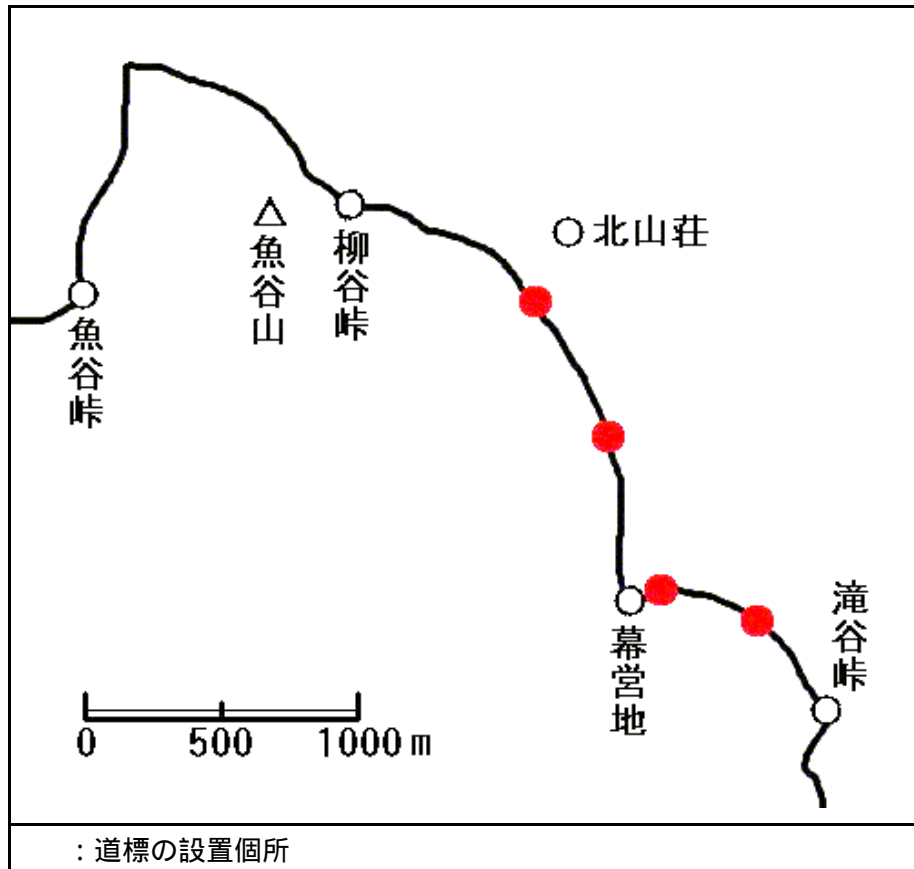
### 【幕営地】

今回の幕営地は林道の起点にあたる。すぐ近くにはダムがあり、少し開けた場所があるので幕営には適した場所である。また小川が流れているので飲料水の補給もできる。

### 【幕営地～魚谷山】

細ガ谷の谷間は、登山道が分かり難く迷いやすい。北山荘へ続く道と、魚谷山への道の分岐点は特に分かり難く、初めての場合は地形図を見ていないと道を間違えてしまう。まだ冬の間は藪が無いので比較的分かり易いが、夏には繁茂した草木のためルートを見失い易いので注意が必要。

## 【 登山道整備の概要 】



今回の登山道整備は、道標の設置とカラーテープによるマーキングを行った。道標はカマゴコ板に油性マジックで目的地と方向を書き、上からニスを塗って補強した。設置する際は木の枝にビニール紐で結び付け、結び目が解けないように紐にもニスを塗っておいた。

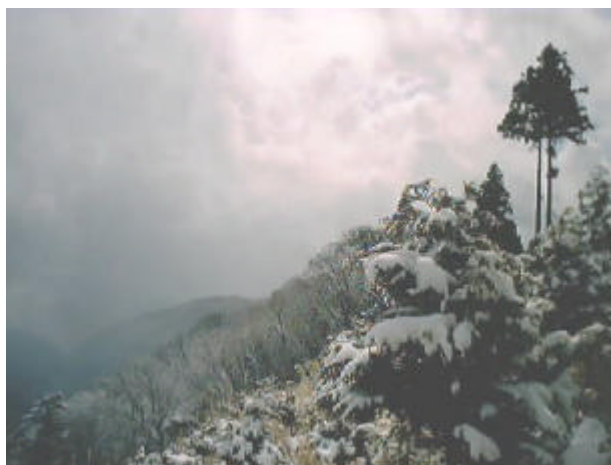
道標の設置ポイントは、特に登山道の判別が困難な個所を選び、付近数百メートルにも赤色のカラーテープでマーキング

をした。今回は特に北山荘付近のマーキングに力を入れた。マーキングする際は、前の設置個所が目視できる距離を保つことに留意した。

途中、テープの残量がわずかになったためマーキングの頻度を抑えた。次回からはもっと余分に持って行くようにしたい。

## 【 CL の反省 】

今回の合宿は、登山道の整備を主な目的として計画をたてた。そのため、装備や山行ルートの設定など、登山道の整備以外の計画に不備が多々あったように思う。具体的には、アイゼンを持って来なかった、オーバー手袋を持って来なかった、歩行時間の設定が甘かった、など登山計画としては初歩的なミスばかりである。幸いにも積雪量がそれ程でもなかったので事無きを得たが、第一次・第二次雪山合宿ではこのような事のないよう万全の準備で望みたい。



もう一つの目的として、1回生に基本的な登山技術を教える予定だったが、登山道の整備に時間を取られた事と、山行中は積雪で登山道を見失う危険があったために、まったく教えることができなかった。次回の雪山合宿では色々と教えたいと思う。

## 【 会計報告 】

食料	1 1日夕食 1 2日朝食 1 2日昼食	1 8 0 0 円 (一人 4 5 0 円)
登山道整備用品	カラーテープ ビニール紐 ニス (スプレータイプ) 油性マジック など	2 2 0 0 円 (一人 5 5 0 円)
叡山電鉄	二軒茶屋駅 ~ 二ノ瀬駅	2 3 0 円
京都バス	岩屋橋 ~ しくる橋	3 8 0 円

## 【 岩屋橋発のバス時刻表 】

平日	休日
7 : 0 0	7 : 0 0
8 : 3 2	9 : 2 0
1 0 : 5 7	1 1 : 5 0
1 4 : 3 5	1 4 : 3 0
1 6 : 5 0	1 7 : 0 0
1 9 : 5 6	1 9 : 3 0

## 【 感想文 】

1回生 里美 真希子

久しぶりの合宿であんなに雪を見れるとは思いませんでした。そのせいか、ついテンションがあがってしまい、はしゃぎすぎました。夜は異常なほど寒く寝ているのか起きてるのか、わかりませんでした。夜中に、はるカイロを貼ってねていたオガ（小川くん）があつさのあまり汗をかいているのは笑えました。二日目に立てた社は毎年恒例で拝みに行きたいです。あと山から下った所のバス停の近くのお店の駐車場で勝手に寝袋で昼寝してすいません。

1回生 望月 美里

今回予想以上に雪が多く、なかなか身の詰まった合宿となりました。次の雪山合宿のプレ合宿として参考になったと思います。その一つとして、防寒対策を強化、軍手での雪合戦の禁止（圧倒的不利のため）などなど。この合宿でカマや包丁を持った小川クンの姿を見て、やはり生身の人間の方が怖い事をしりました。いろいろと勉強になりました。

1回生 小川 祐史

雪、雪、雪！見渡す限白い世界！大学からもっとも近い山なのにとてつもなく辺境の地に來た気分だった。しかし雪は人間を童心に帰してしまう幼かったころに捨ててきた何かを取り戻せた気がした。

4回生 古塚 孝太

久しぶりの雪山でした。最後に行ったのが16歳の時なので、もう6年も前のことです。あの頃は少々寒くても全然平気だったなあ・・・と感慨に耽りながら寒さに震えていました。

【 編集後記 】 2月18日

ニス塗っている時、誤って指にかけてしまった。そしたら変な所に皸が出来た。これって指紋と言うんだろうか……。1週間経った今でもまだ消えない。 (古塚)